

平成31年4月25日

3丁目の皆様へ、班長の皆様へ

染井野3丁目町内会、同自主防災会  
会 長 荒井賢一郎  
自主防災会 防災本部員 木川 正博

## タオルで知らせる班長による「安否確認方式」の導入

陽春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から、町内会活動にご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、皆様もご案内の通り、「首都直下地震」がいつ発生しても不思議ではありません。

こうした大地震が発生した際には、まず本人とご家族の無事が基本となりますが、無事であれば、近隣の方々の安否確認と必要な救助へ手を差し伸べることも可能となります。そこで、自主防災会では、地域の安否確認の時間短縮に役に立ち、所在が分からない人の搜索や負傷者の救助に速やかに移行できるよう、この5月から、大震災発生時において、次の安否確認方法を導入することといたしました。大地震発生時には、是非ご協力をお願いいたします。

**震度5強以上の地震が発生した際には、本人はじめ家族や同居人が無事(救助や支援が不要な場合)であれば、地震がおさまってから黄色のタオル(自主防災会より5月上旬各戸へ別途配布予定)を門扉に掛けるか巻くかして、周囲にお宅の無事を知らせていただきます。**

家族中で、地震発生時に都内等の会社や学校におり、交通機関の運行停止などで帰宅困難者となるものの、携帯電話等で安否に問題がないような場合にも、**黄色のタオル**を掛けるか巻くかして無事を知らせてください。

一方、救助や支援が必要な場合、帰宅困難者など外出者との連絡が取れないような場合には、タオル無しの扱いとなります(不在なら、そもそも無し)。

なお、この方式の導入と同時に、いざ大地震の発生に際して、**ブロックごとの班長(本人・家族が無事の方)**は、担当範囲において、この**黄色のタオル**の掲示だけを確認するとともに、タオル無しのお宅へは訪問して安否確認し、ブロック長へその結果を速やかに報告する制度も導入いたします。班長の方々には仕事が増えて恐縮ですが、共助の精神でご協力をお願いします。

また、簡単な救助では班長・ブロック長が救助手当を行い、それ以上の負傷者であれば担架等で病院へ運ぶこともあります。初期火災であればブロック長へ連絡、担当ブロック長で消火に当たるとともに119番通報し、消防に救助要請します。

## 黄色いタオルで安否確認

### タオルで知らせる 「我が家は無事です」

家族が全員無事なら玄関や門扉、郵便受などにタオルを掲げましょう。「我が家は無事です」の目印になります。



### タオルが災害時の安否確認を効率的に!

タオルがあると、外から一目で無事とわかり、より多くの人の安否確認ができます。



タオルがない場合

タオルがある場合